

- 施策の柱1**  
子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進
- 施策の柱2**  
学びの機会を保障し質を高める環境の確立
- 施策の柱3**  
地域と歩む持続可能な教育の実現



- 生きて働く学力の育成
- 豊かな心の育成
- 健やかな体の育成
- 学びを支える家庭・地域との連携・協働
- 学びを高める信頼される学校づくり
- 上富良野高等学校への総合的支援

学校教育目標

まなぶ子 かかわる子 つくる子

上川学びフォーカス

- 2026(R8)上川管内教育推進の重点
- **学びを引き出す** 主体性の育成
  - **学びを守る** 安心する環境づくり
  - **学びを広げる** 地域等との連携

スローガン

子どもの姿で成果を示し  
信頼される学校づくり

か がやく み らいに  
生き抜く資質・能力を  
ほ し よ う

目指す 子ども像

- **自らまなぶ子**  
・好き・楽しい・できそう・安心感・学んでよかった
- **優しい言葉でかかわる子**  
・言葉遣い・挨拶・自他のよさや考えを認め、尊重する
- **よりよい自分をつくる子**  
・生活リズム・運動の日常化・手洗い(健康)・食育  
・凡事徹底

目指す 学校像

- わくわくしながら登校し満足して下校できる学校 **児童にとって**
- 自分の力を十分に発揮できるやりがいのある学校 **教師にとって**
- 安心して子どもを通わせ積極的に協力できる学校 **保護者にとって**
- 信頼でき積極的に協力できる開かれた学校 **地域にとって**

目指す 教師像

- 授業力、教師力、人間力向上に向けて主体的に学ぶ教師 **まなぶ**
- 子どもに、教材に、同僚に積極的にかわり自他を高めていく教師 **かかわる**
- 使命感と誇り、責任をもち、自らの働き方や快適な創り上げる教師 **つくる**



経営のキーワード

3 S

Smile Speed Spirit

- スピード感と信念をもって
- 自己の役割の遂行
  - 協働体制の確立
- 笑顔をもって
- 保護者・地域との連携
  - 喜びと感動の共有

わくわく

を見つけて 決めて やってみよう ~子どもたちの主体性を育てる~

主体性

重点目標

Plan 計画  
教育計画、教育課程等



豊かで強い心

心 Project

■ 具体化のための取組 重点

- ① 「挨拶」「正しい言葉遣い」「元気な歌声」が響き合う学校づくりの推進
- ② 「上小の子ども(生活のきまり)」の指導を通じた規範意識の醸成
- ③ かかわり合う活動を重視した指導の工夫
- ④ 生徒指導に係る小中連携(情報共有)の推進

■ 評価指標

	R8	R7
1 友達の良さや違いを認め、命の大切さを理解している	児ア02 A 55%	A 52%
2 自分から進んで挨拶ができる	児ア05 A 65%	A 59%
3 規則正しい生活をしている	児ア09 A 42%	A 39%



同じベクトルで  
子どものわくわくを引き出す

確かな学び

学び Project

■ 具体化のための取組 重点

- ① 学習規律(上小スタンダード)や基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した組織的な授業改善の推進
- ③ 自主的・主体的に「学び方」を身に付ける指導の充実
- ④ 小中連携及び幼保小連携の促進

■ 評価指標

	R8	R7
1 学習内容を理解している	児ア01 A 35%	A 31%
2 自分の考えを伝えたり書いたりしている	児ア07 A 40%	A 38%
3 授業で自分から課題解決に取り組んでいる	児ア14 A 45%	A 41%

じょうぶな体

体 Project

■ 具体化のための取組 重点

- ① 課題となった運動要素の向上を図る体育科年間指導計画の点検と授業改善
- ② めあてに向かって取り組む全校体づくりの充実
- ③ いつでも運動に親しむことができる場の活用促進と用具などの工夫
- ④ 食育指導の充実による望ましい食習慣の育成

■ 評価指標

	R8	R7
1 食事や体力づくりの大切さを理解している	児ア03 A 53%	A 51%
2 好き嫌いをせずに食事をし、進んで体を動かしている	児ア06 A 43%	A 40%
3 目標に向かって最後まであきらめずに取り組んでいる	児ア08 A 55%	A 54%

不登校児童への支援の充実

- 早期把握と組織的対応
- 安心できる居場所の確保
- 学びの継続支援
- 関係機関(MinaMina等)・家庭との連携
- 自己肯定感を育む指導

Action 改善  
授業改善、業務改善等

教えることへの

わくわく

不登校率  
減少



安心・安全・快適な学校

管理事務 Project

■ 具体化のための取組 重点

- ① 縦割り班を活用したかかわる力を育む清掃活動の推進
- ② ICTの活用促進に向けた環境の整備・充実

■ 評価指標

	R8	R7
1 縦割り班を活用したかかわる力を育む清掃活動の推進	教ア32 A 58%	A 55%
2 ICT機器の活用促進に向けた環境の整備・充実	教ア33 A 38%	A 35%

Check 評価  
学力検査、学校評価等

子どもが育つ

わくわく

特別支援教育の推進

- 組織的な校内支援体制の確立
- 早期把握・早期支援の徹底
- ユニバーサルデザインに基づく授業改善
- 保護者・関係機関との連携強化
- 教職員の専門性向上(研修の実施)

「学校は楽しい」  
の向上



Aを  
60%以上に

働き方改革の推進「教職員のウェルビーイングの実現 ~ 笑顔で働ける職場がよい教育をつくる ~」 職員室の心理的安全性、ICTを活用した校務効率化、業務の見直し・削減等

コミュニティスクール「地域を学びのキャンパスに! 構想」 学校運営協議会 地域協働本部(放課後スクール・クラブ、学校支援ボランティア、スポーツ協会、住民会、いしずえ大学等)